

# 競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項に準ずるが、児童である年齢を考慮のもとに競技を進行する。
2. ナンバーカードは、ユニフォームの胸と背に確実に付けること。  
跳躍種目はこの限りでない。
3. ウォーミングアップ場所について
  - ①9時まで使用可能とする。
  - ②競技場バックストレート2～8レーンを12時00分まで使用可能とする。
  - ③投てき練習は、競技開始前に、フィールド内で主任審判の指示により行なうこと。  
※アナウンスに注意すること。
4. 招集について
  - ①招集所は、メイン競技場第4ゲート付近の場外に設ける。  
各種目の招集開始・完了時刻は、当該種目の競技開始時刻を基準とする。  
**招集開始時刻及び完了時刻は競技日程表に記載しています。**
  - ②選手は、招集開始時刻に集合し、競技者係より最終点呼を受け、ナンバーカードの点検確認を受けること。  
**リレーメンバー(全員)は招集所内に待機し、点呼を受けること。**
  - ③招集時刻に遅れた場合、当該種目を棄権したものととして処理する。
  - ④他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めますので競技者係主任(招集所)に事前に申し出てください。
5. 競技場への入退場について  
入退場は競技役員の指示に従い行ってください。  
監督・コーチ・報道・選手・補助員・競技役員以外は、競技場に入ってはならない。  
また、**競技者の本部前の通行は厳禁とする。**  
ただし、各チーム監督、コーチ3名の入場を許可する。その場合は主催者が用意する許可証を必ず付けること。
6. レーン順・試技順について
  - (1)トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示します。
  - (2)欠場者のレーンはあけます。
7. 競技方法について
  - ①スタートの合図はイングリッシュコールとする。(全学年対象)
  - ②スタートは同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格としオープン参加として走る。
  - ③80mハードルの規定

スタートから第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードルからゴール
13m	70cm	7m	9台	11m
  - ④800mはオープンレーンで実施します。

- ⑤リレーオーダーはプログラムに記載されている選手以外は認めない。  
マークのテープは各チームで準備したものを使用すること。  
また使用後のテープは必ずそのチームの選手が外すこと。
- ⑥リレー競走におけるテイク・オーバー・ゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- ⑦リレー競走に出場する選手のユニフォームは原則としてチームの全選手とも同一デザインとする。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
- ⑧男女混合4×100mRは男女各2名から編成され、走順は自由とする。  
(補欠についても男女各1名ずつとする)

**混合リレーオーダー用紙は11時までに情報処理室に提出すること。**

**4×100mリレーオーダー用紙は13時までに情報処理室に提出すること。**

**オーダー用紙は受付の時に受取る事。**

- ⑨走高跳の跳躍方法は、はさみ跳びとし、マットへの着地は足裏からとし背・腰等からの着地は無効試技とする。  
自分が申告した高さから試技を開始し、3回続けて失敗した時点で終了とする。
- ⑩ジャベリックボール投の競技方法  
主催者が用意した器具を使用する。  
やり投に準じて行うが、助走距離は15m以内とし、距離の計測は器具が最初に地面についた地点から計測する。  
試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。  
羽を持つての投てき、回転投げを禁止する。
- ⑪走幅跳、ジャベリックボール投は全員3回の試技とする

8. チーム(学校)控え場所の清掃は、監督・顧問・キャプテンの指示により確実にこなすこと。

各チーム(学校)で出したゴミは、確実に持ち帰ること。

9. 個人情報の取り扱いについて

本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しません。

10. その他

競技中に発生した傷病については、本部で応急処置は行うが、その後については本人(保護者・申し込み責任者)の責任において処置すること。